

学部長あいさつ

「ゼミナールで海外へ」

SGS News Letter 第15号をお届けします。

多摩大学は「ゼミの多摩大」と呼ばれていましたが、今では「ゼミカ^{りょく}の多摩大」と呼ばれるようになってきました。面倒見の良い大学・学部は、就職に強いと言われており、ゼミで学生を育て社会に送り出す、これこそは本学の強みだと考えます。グローバルスタディーズ学部では、2013年度からトライアル・ゼミを導入しました。トライアル・ゼミ2年目の今年度は、5つのゼミから希望者が集まり、2月からマカオ大学へ短期留学することになりました。今回の留学は、ホスピタリティ科目が充実しているマカオ大学の専門家に統合型リゾート(IR)について学び、MICE (Meeting, Incentive, Convention/Conference, Exhibition/Event) 施設、聖パウロ寺院を始めとする名所旧跡見学、さらに香港へ足を伸ばし、旧イギリス領だった香港と旧ポルトガル領だったマカオとの発展の違いを検証することを目的とします。

中国の特別行政区であるマカオと香港の間には、珠江を横断する橋が建設されていて、そのスケールの大きさに驚かされることでしょう。また、マカオから広東省の深圳を起点に広州まで東莞県や番禺県などの工業地帯を高速道路で結ぶなど、経済発展が著しく、活性化が進んでいます。この三角地帯での物流は画期的に変貌することでしょう。こうした状況を若い学生が目当たりすることで自分の将来設計のヒントを見出してくれるのではないかと期待しております。

先に触れた統合型リゾートに関しては、11月に東京ビッグサイトにて「動き出す日本型IR：統合型リゾート開発・投資シンポジウム2014」が開催されるほど、今ではIRがこれ程なく注目されるようになりました。欧米型ではなく、日本の未来のためにいかに日本型統合型リゾートを作り上げればよいかの間わかれております。

これは2020年の東京オリンピック・パラリンピックが開催されることにつながっています。例えば、インターゼミでフジテレビを訪問させていただいた際、「DAIBAエンターテイメント・シティー構想」について説明を受けました。オリンピック誘致によって周りが動きだしたことで「DAIBAエンターテイメント・シティー構想」が誘発されたのです。その1つ、交通網に関して、BRTの敷設や品川・田町間の新駅からお台場・羽田を直結する新線の敷設などが計画されています。この運動性のある計画は、経済的、社会的に活性化されることは間違いのないでしょう。

統合型リゾートが着目され始めたことは、本学部の学生には追い風と言えます。就職につながる良い機会です。オリンピック・パラリンピックのような世界の祭典が自国で開催されることに、自らがチャンスだと認識できるかは、教員とのコミュニケーションや揺るぎない探究心にかかっています。中国の珠江デルタ地域のみならず世の中はめまぐるしく動いています。その動きを理解させ、そのスピードについて行く人材を育成することは、本学において重要なことと考えています。視野を広げ外を見ることで、いかに進路を修正していくかがカギとなります。マカオ大学への短期留学はゼミ担当教員が随行し、今後の進路に関してヒントを提供できれば幸いと考えています。

最後に、マカオ大学研修ツアーに参加した学生のうち数名は2月末に開催される「いま最も効くまちづくりプランナー養成講座」にて研修報告を予定しています。学生は勿論、保証人の皆さまにも時間が許す限り是非参加していただければ幸いです。



学部長 安田 震一
(ヤスダ シンイチ)
William Shang
(ウリアム シヤング)



今後のスケジュール

- 12月24日(水)～1月3日(土)
冬季休業期間
- 1月5日(月)
秋学期 授業再開
- 1月20日(火) 21日(水) 22日(木)
特別補講日
- 1月23日(金)
秋学期 授業終了
- 1月24日(土)
TOEIC試験
- 1月26日(月)～1月30日(金)
秋学期 期末試験期間
- 2月2日(月)～3月31日(火)
春季休業期間
- 3月21日(土・祝)
学位授与式・卒業式

発行責任者：
学部長 安田 震一

多摩大学
グローバルスタディーズ学部

〒252-0805
神奈川県藤沢市円行802番地
TEL: 0466-82-4141
<http://www.tama.ac.jp/>

平成26年度秋卒業式と秋入学式を挙行

平成26年度グローバルスタディーズ学部秋卒業式を9月19日（金）に挙行、6名の学生が新たにSGSから飛び立ちました。

卒業証書・学位授与を行い安田学部長から一人ずつ証書が渡されました。学生を代表して西田健志朗さんが答辞を述べ、御影雅良後援会会長より、卒業記念品が代表者の櫻井大地さんへ手渡されました。最後に式典出席者全員による学園歌斉唱で無事幕を閉じました。式典終了後は写真撮影や軽食をとりながら教職員と時間の許す限り、歓談の一時を過ごしました。



また、同日秋入学式を挙行いたしました。新入生6名（1名は編入生）、留学生3名（台湾1名・シンガポール2名）が参加、多少緊張した面持ちでしたが、自己紹介が終わると安堵の表情になったのが印象的でした。出席した教職員も自己紹介を行い歓迎の意を伝えました。

学生達にはコミュニケーション力を発揮し、1日でも早く多くの仲間が増えることを期待します。



グローバルスタディーズ学部主催、寺島学長・溝畑宏先生対談

「グローバル化する観光産業の人材育成と活用Ⅲ」シンポジウム開催報告

今回で第3回目となる「グローバル化する観光産業の人材育成と活用Ⅲ」が2014年10月27日（月）午後6時30分から藤沢商工会館ミナパークにて開催されました。

当日は、湘南地区の高校の先生や企業の方を中心に約118名の方にご参加いただきました。

まず、グローバルスタディーズ学部の太田哲専任講師による「アジアの若者文化に観る『旅』意識の変化と藤沢」という内容で、海外への日本文化の発信、受け入れられ方、クールジャパン、そして今後の藤沢の方向性に関する講演を約30分行いました。

その後、午後7時から、寺島学長と溝畑宏先生（元内閣官房参与、元観光庁長官）による「観光立国 ニッポン、2020東京オリンピック・パラリンピックとIRで日本を元気に」という1時間15分の対談を行い、ご参加の皆様には、今後日本社会の観光を含めたホスピタリティ産業が必要としている人材の育成、及び今後海外からのリピーターをいかに定着させるか、日本の伝統文化に魅了させ「日本らしさ」をどうアピールするのか等について、熱心にお考えいただき、シンポジウムは終了しました。



学園祭“SGS Festa”を開催

11月1日(土)・2日(日)に学園祭「第8回“SGS Festa”」を開催いたしました。1日目は生憎の雨で、来場者数の伸び悩みを心配いたしました。2日間で昨年に近い来場者数となり、学園祭実行委員会一同、胸をなでおろしました。

テーマは「世界祭～多摩大からこんにちは!～」です。本学部の特長である“グローバル”を伝えるために、世界共通の文化である「お祭」という言葉を取り入れました。

体育館ステージでは、本学卒業生の俳優：峯崎雄太さんのトークショーからスタートし、コンサートを中心に展開いたしました。「パクステ外神田一丁目」(2年連続)と「palet」の2つのアイドルグループが参加、たいへん熱いステージとなりました。

「湘南の歌姫エリボン」ことシンガーソングライター：工藤江里菜さんは、観客と一体となり、透明感のある歌声を披露しました。

国際機関ユネスコ・パリ本部ユネスコ平和芸術家の城之内ミサさんには「トーク&ライブ」と題して、国際舞台で活躍されている経緯や世界遺産のお話をいただきました。



工藤江里菜さんのライブ



“けさらんばさらん”のダンスショー

フルート演奏の第一人者：高桑英世さんとのステージでは、大人の音楽の魅力を堪能することができました。

今年は、教室での講演が充実していました。元プロボクサー(WPBF世界クルーザー級チャンピオン)：西澤ヨシノリさんの「Never say can't」は、聴講者の約半数が本学学生であり、若者に勇気を与えました。

株式会社高島屋横浜店のコンシェルジュ：ザイナ・シャフマイエフさんの「多言語でのおもてなし」では、来春入学予定の高校生が入学前学習の一環として聴講するなど、ホスピタリティ・マネジメントコース・国際教養コースで学ぶ上で、たいへん有意義な内容でした。

本学のエリック・ホノ准教授による「カナダの歴史」では、歴史に触れながら、カナダの魅力を多くの学生、市民の方々に提供できました。

カフェテリアでは、今年で5回目になる職員手作りのお菓子とともに、留学中の学生からのメッセージや、留学プログラムを紹介する“Study Abroad Café”を開催しました。初の試みとして、中国人留学生による中国語ミニ講座、料理サークルによるハロウィンのかぼちゃ作りも開催しました。約350名のご来場者様から頂いた22,162円の募金は、本学の海外ボランティア団体“Zion's Club”にて大切にに使わせていただきます。



Zion's Club メンバー

中庭では、1年生の各クラス、サークルのほか、SGS後援会による「焼きそば」を出店、外部を含め17団体が参加し、各国の料理を提供いたしました。

対外的には成功したといえる学園祭ですが、舞台裏は今年もたいへんでした。本学の傾向と言えますが、学生の代替わりが行われると、先輩達の成功例を踏襲することよりも、「自分達の代」という思い入れが強く、またはじめからスタートするという「悪循環」を感じることも多々ありました。先輩、後輩のよき関係をもっと構築してもらいたいと思います。先輩達は、いい「置き土産」を残し、後輩達はありがたく引き継ぐ、謙虚な気持ちが芽生えるようになることを期待しています。

国際交流課

ナンヤンポリテクニク(シンガポール) Study Tour 受入れ

10月に、交換留学提携先であるナンヤンポリテクニク(シンガポール)から2週間のStudy Tourを受け入れました。

滞在中、2度も台風に遭い、箱根観光や高尾山ハイキングを断念せざるを得ませんでした。最終日のプレゼンテーションでは、日本のおもてなしや食事・ビジネスマナーに関する講義、本学の学生との渋谷・原宿ツアーを通じて、日本の文化や日本人の国民性など多くのことを学んだとの感想が述べられました。



浴衣を着た後、茶道部によるお茶会を体験しました

キャリア支援課

本学部4年生(2015年3月卒)の12月1日現在の内定率は約65%で、前年より5ポイント高くなっています。今年度は企業の採用意欲も高く求人が豊富ですが、昨年同様厳選採用の流れは強くなっています。本学部では新たに就職相談員も加わり就職活動中の学生の個別指導を強化しています。多くの求人がまだまだ本学にも届いていますので、卒業ギリギリまで学生達とのマッチングを図り一人でも多くの学生が満足する進路へとフォローを続けてまいります。

また、2016年卒の3年生は就職活動時期の後ろ倒しの影響から、就職活動に対するとまどいが見られますが、本学部では11月から多くの企業にお越しいただき業界セミナーを開催することで、学生が企業や仕事の実態に触れる機会を増やしています。

本学部で2年生を中心に実施している国内インターンシップについて、春学期は28名が参加し、秋学期は30名が就業体験を行う予定です。3月24日にインターンシップ報告会を行い、今後の学生生活や就職活動に活かしていきます。

2014年12月1日現在(重複内定含む)

5期生の主な内定先	
製造業	クロレラ工業(株)、佐永公司(有)、ザ・バック(株)、リーフエナジー(株)、(株)アルファ、(株)アドバンテック、横浜日野自動車(株)
情報通信業	(株)大塚商会、(株)NSP、(株)トランスコスモス・テクノロジーズ、総合情報開発(株)、トランス・コスモス(株)、(株)more communication、(株)リパークレイン、日本電産(株)
運輸業、郵便業	国際自動車(株)、(株)エコ配、共和物産(株)、(株)日本トラフィックサービス、内外日東(株)
卸売業、小売業	佐藤長八商事(株)、(株)オオセキ、シンコール(株)、古河産業(株)、竹本容器(株)、サミット(株)、ACNE STUDIOS AOYAMA、(株)オンリー、(株)柏圭、(株)JAL-DFS、(株)ファイブフォックス、(株)ショービ、(株)サマンサタバサジャパンリミテッド、(株)チヨダ、(株)アーバンリサーチ、(株)ケイ・ウノ、(株)コナカ、(株)ルック、A s-me エステール(株)、東京スバル(株)、神奈川トヨタ自動車(株)、ネットヨタ湘南(株)、オーチアス(株)、湘南菱油(株)、(株)誠美堂、(株)マックスガイ、湘南菱油(株)
金融・保険業	浜銀TT証券(株)、(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング、(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング、日本生命保険(相)
不動産業	三井ホーム(株)、(株)湘南ミサワホーム不動産、ナイスコミュニティー(株)、(株)ヒロフジプランニング
飲食店、宿泊業	ホテル南風荘、Novotel Singapore Clarke Quay、(株)横浜グランドインターコンチネンタルホテル、(株)ワンダーテーブル、(株)きちり、(株)タリーズコーヒー、(株)PSCOOP、(株)いなとり荘
医療、福祉	社会福祉法人 富士白苑、(株)ベネッセスタイルケア
サービス業	専門サービス (株)森事務所、(株)サガミ
	生活関連サービス業 (株)ボディワークホールディングス、(株)エム・シーネットワークスジャパン、(株)旅工房、(株)デコルテ、(株)エイチ・アイ・エス、(株)ヴァリック
	その他のサービス業 (株)インテリジェンス、SBSロジコム(株)、(株)キャプラン、(株)エスキース

秋学期インターンシップ受入れ企業リスト

企業名	
1	株式会社ANAスカイビルサービス
2	江の島ボウリングセンター
3	鎌倉パークホテル
4	株式会社コロコバード
5	株式会社さんこうどう
6	株式会社ジープラス・メディア
7	湘南技術センター株式会社
8	株式会社湘南ジャーナル社
9	湘南ステーションビル株式会社
10	株式会社湘南平塚コミュニティ放送
11	特定非営利活動法人 地球市民ACT市民かながわ
12	株式会社ナジック・アイ・サポート
13	公益財団法人 日本フィランソロジー協会
14	公益財団法人 日本ユニセフ協会
15	一般社団法人 日本ワーキングホリデー協会
16	ヒルトン東京ベイ
17	公益社団法人 藤沢市観光協会
18	特定非営利活動法人 藤沢市市民活動推進連絡会
19	ホテルニューグランド
20	株式会社横浜グランドインターコンチネンタルホテル
21	株式会社横浜ベイホテル東急
22	株式会社ライセンスアカデミー大学新聞社
23	特定非営利活動法人 留学協会

11月2日(日)保護者を対象とした「保護者向け就職セミナー」を開催しました。今年度が学生達に直接指導にあっている就職委員の先生方の講演や、4年生の就職活動体験話など多摩大生にとって大変身近な就職セミナーとなり、参加した保護者から高い評価をいただきました。次年度も同様の「就職セミナー」を開催する予定です。是非ご参加下さい。

教員紹介

小松 加代子先生 Kayoko Komatsu



「日本の宗教」、「癒しの文化論」、「身体とアイデンティティ」、「キリスト教の世界観」、「ジェンダー論」とさまざまな授業を担当しているので、何が専門なのだろうと思われるかもしれません。

私は大学で宗教社会学と出会い、筑波大学大学院(哲学思想研究科宗教学専攻)に進みました。その後イギリスに留学し、イギリスでキリスト教以前の宗教を発掘するという運動と出会い、女神信仰を作り上げようとする女性グループの調査研究をしました。彼女たちは考古学の知識を用いながら、一方でニューエイジの思想などを組み合わせて、キリスト教がイギリスに来る前にあったと思われる儀式などを復活させようとしていて、とてもおもしろい体験をさせてもらいました。イギリスには魔女を名乗る女性たちが現在でも数千人いると言われていました。また、ドルイド教などのように、多くの男性が参加するキリスト教以前のイギリスの宗教復活運動もあります。自然を大切に、人間の感性を強調するものへのあこがれは、キリスト教文化の中にも育った人々の中にもあるのです。

いま日本では妖怪ブームです。この世の不可解な出来事はすべて妖怪の仕業、という「妖怪ウォッチ」が流行っていますが、もともと日本だけではなく、この世には説明のできない出来事が起こることがあって、その中には人間とは異なる存在の影響があるとみる考え方は世界各地にあります。なかでも日本は、キリスト教に匹敵するような教義の確立した創唱宗教が力をもっていないので、有象無象の考え方が曖昧なまま存在しています。説明のできない病気や体の不調が起こると霊の祟りだ、霊の障りだと言われたり、一方でご神木や磐座、御神輿などに神が宿ると感じたり、そしていいことが起これば縁起がいい、ご先祖が見守ってくれているとか、おかげさまだと考える、こうした習慣は、単に無宗教だとか、宗教的信念がないということではなく、独特の豊かな生き方であるということもできます。さまざまな授業を教えながら、このグローバルな時代において、この独特な世界観を異なる文化の人々に説明するために、学生の皆さんにはまずは自らの考え方を深めてみて欲しいと思っています。